

### 第1章 安全・安心の追求

#### (1) 概要

お客様が安全・安心に首都高を利用いただけるよう、道路のきめ細かな点検、損傷の的確な補修、大規模更新・大規模修繕等を進めます。

#### (2) 主な取組み

##### ① 点検・補修・補強の実施

- ・きめ細かな点検により道路の損傷等を早期に発見し、損傷等の度合いにあわせてランク分けをし、**計画的に補修・補強**を実施

##### ② 大規模更新・大規模修繕の工事着手

##### ③ 歩行者等立入対策及び自動車逆走対策の推進

- ・他企業と共同研究を行い、**歩行者等の立入者や逆走車を検知し、警告を発するシステム**を導入
- ・ジャンクション・入口等合流部での自動車のUターン防止対策として、**高輝度矢印板設置等の取組みを強化**

##### ④ 道路法違反車両対策の強化

- ・道路構造の保全と交通の危険防止の観点から取締を強化

#### ① 点検・補修・補強の実施



高所作業車による点検状況



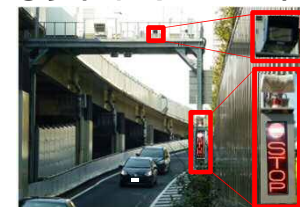
ポールカメラによる点検状況

#### ② 大規模更新・大規模修繕の工事着手

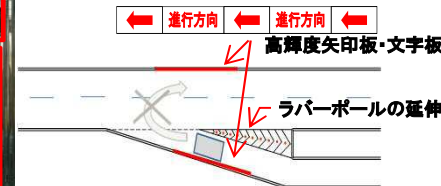
区分	対象箇所	工事着手年度	事業年度
大規模更新	東品川棧橋・鮫洲埋立部	2015	2014～2026
	池尻～三軒茶屋	2015	2015～2027
	高速大師橋	2016	2015～2023
大規模修繕	3号渋谷線、4号新宿線 他	2014	2014～2024

※日本橋・築地川区間については、都市再生(まちづくり)と連携した更新検討・調整を推進

#### ③ 歩行者等立入対策及び自動車逆走対策の推進



検知カメラ・警告表示板の設置



高輝度矢印板・文字板等の設置イメージ

## 第2章 快適・便利なサービスの提供

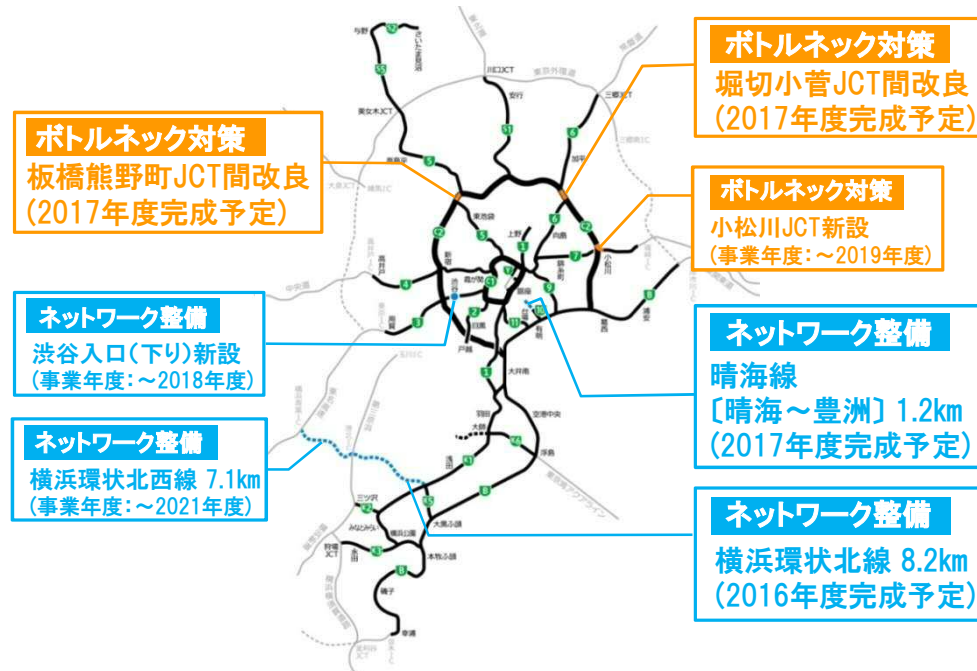
### (1)概要

お客様が快適・便利に首都高を利用いただけるよう、ネットワークの整備や渋滞対策等のハード対策と、的確な道路交通情報の提供や料金施策等のソフト対策を実施します。

### (2)主な取組み

- ①ネットワーク整備とボトルネック対策の推進
- ②新たな技術を活用した渋滞対策の推進
  - ・上り勾配区間においてLEDライトを順次点灯させる「**エスコートライト**」を設置
  - ・時間帯により合流方法を変える「**可変チャンネルリゼーション**」を導入
- ③料金所の再配置事業の着手
  - ・首都高で連続利用となる料金所(平和島本線料金所、大井本線料金所等)の撤去に向けた料金所の再配置事業に着手

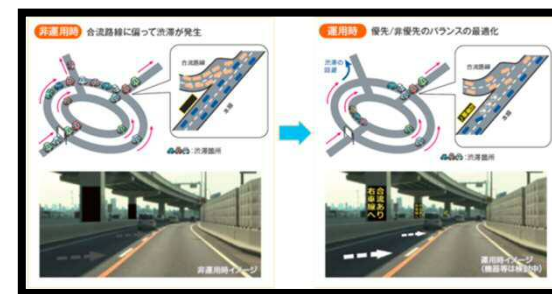
### ①ネットワーク整備とボトルネック対策の推進



### ②新たな技術を活用した渋滞対策の推進



エスコートライトの設置



可変チャンネルリゼーションの実施イメージ

## 第3章 新たな事業の展開

### (1)概要

お客様が快適で、より利用しやすいPA・駐車場を展開します。  
また、多種多様なアイデアと技術を活かして、幅広い事業を展開し、  
長期安定的な経営基盤を確立します。

### (2)主な取組み

#### ①都市型PA事業の展開

- ・「**都市型PA**※1」としての機能を満たす商品開発、店舗創り、サービス等についての調査検討を進め、各PAの特性に合った空間を創出

#### ②コンサルティング事業の拡大

- ・50年以上にわたり首都高の計画、新設、維持管理、交通運用等で培った技術力やノウハウを活かし、道路技術等に関するコンサルティング事業を国内外で拡大

※1 都市型PA:ビジネスドライバーやファミリー層のニーズに合った、短時間利用のお客様も安心して、便利に利用できるPA

#### ①都市型PA事業の展開



PAの現状

#### ②コンサルティング事業の拡大



パッケージ化したサービスにより事業を拡大

## 第4章 技術開発の推進

### (1)概要

お客様へ高品質なサービスを提供するために、社員の技術力向上と技術継承に取組み、新技術を開発します。また、技術の活用により事業の効率化や事業領域の拡大を図ります。

### (2)主な取組み

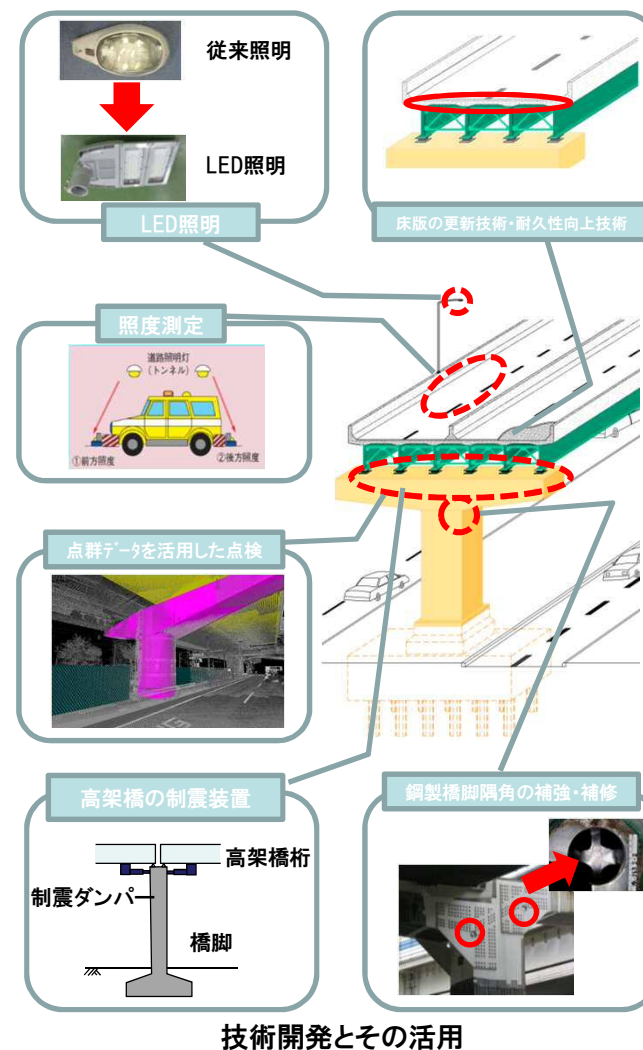
#### ①防災・減災の技術開発

- ・首都直下地震に対する道路構造物の防災、減災、早期復旧を可能とする高架橋の制震装置等の技術開発

#### ②道路の点検・補修・補強・更新の技術開発及び活用

- ・鋼構造物疲労損傷への補修・補強技術、点検診断技術開発及び活用
- ・三次元点群データを活用した**InfraDoctor(インフラドクター)®**※1の技術開発及び活用
- ・走行しながら道路照明の照度測定及びETC電波環境測定等ができる特殊測定車両の技術開発
- ・維持管理業務を軽減する高架橋の床版上面保護工法等の耐久性向上技術開発
- ・損傷した高架橋の床版の確実かつ効率的な更新技術開発

※1 InfraDoctor(インフラドクター)® : 構造物の維持管理の支援を目的としたシステム



## 第5章 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて

### (1)概要

2020年東京オリンピック・パラリンピックの成功に貢献するため、大会関係者の安全で確実な輸送をはじめ、国際化に向けたサービス向上に取り組めます。

### (2)主な取組み

- ①ネットワーク整備の推進
- ②オリンピックレーン等の適切な交通運用計画の策定に着手
- ③おもてなし
  - ・景観向上に取り組むとともに、海外からのお客様へのサービス向上策の検討を推進

### ①ネットワーク整備の推進

◆2020年東京オリンピック・パラリンピック時までに完成するネットワーク等



## 第6章 経営基盤の強化

### (1)概要

高い倫理観と透明性をもち、効率的で健全な経営を行うために、経営基盤を強化します。

### (2)主な取組み

- ①組織体制の整備と人材育成
- ②首都高グループの組織力強化
- ③リスク管理とコンプライアンスの徹底
- ④CSRの取組み